

青森でご活動されている誘致企業が実際に触れてみて良かった、楽しかった、今後行ってみたい青森の祭り、温もり、文化・歴史・食をご紹介します。

青森Biz通信

知 っ て く だ さ い ! 新 ・ 青 森 力

八戸三社大祭

約290年の歴史と伝統を誇る八戸地方最大の祭りで国の重要無形民俗文化財に指定されています。神話・歌舞伎などを題材とした豪華絢爛な27台もの山車が八戸市の中心部を華やかに練り歩きます。

津軽塗

津軽塗は弘前市を中心に製作販売される伝統工芸品です。幾重にも塗り重ねた漆を平滑に研ぎ出して模様を表す技法は、二か月以上の日数を費やすことで、複雑で美しい漆模様と、頑丈でしっかりとした力強さを感じることのできる工芸品となります。



八戸前沖さば

漁場が近く、新鮮なまま水揚げされる八戸前沖さば。日本のさばとしては最北限に位置し、豊富な餌と低い水温のために良質の脂を蓄えています。八戸市内にはさばの串焼きなどユニークな料理を提供する店もあります。



りんごジュース

日本一のりんご生産量を誇る青森県には、県産りんご100%のりんごジュースが数多くあります。りんご本来の色、味、香りを最大限に引き出した特殊製法でつくりあげたジュースは、りんごまるかじりの美味しさです。



白神山地

青森県南西部から秋田県北西部にかけて、8000年の時が育んだブナ原生林を主体とする森が広がる世界自然遺産の白神山地。多種多様な動植物が生息・自生するなど貴重な生態系が保たれています。



貝焼き味噌

津軽や下北地域で親しまれている郷土料理です。15センチから20センチほどの大きなホタテ貝を器に基本的に味噌と卵を主材料に煮焼きする料理をこの名前で呼びます。ホタテのほか旬の魚介類をこの調理で楽しめます。



じゃっぱ汁

じゃっぱとは「あら」のことで、おもにタラの内臓や骨、頭などを余すことなく煮込んだ津軽地域の伝統鍋料理です。体を芯から温めてくれる、青森の冬にはうれしい一品です。



弘前ねぶたまつり

津軽の夏を彩る弘前ねぶたまつりは、三国志や水滸伝などの武者絵を題材とした大小約80台の勇壮華麗なねぶたが、城下町弘前を練り歩く夏まつりです。情緒ある笛や太鼓のねぶた囃子にのせて、市民らの手によって運行されています。

企業立地のご相談・お問合せ

青森県 商工労働部 産業立地推進課

〒030-8570 青森市長島1-1-1
TEL.017-734-9381 FAX.017-734-8109
E-mail:kogyo@pref.aomori.lg.jp

青森県 東京事務所 産業立地推進課

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館7階
TEL.03-5212-9113 FAX.03-5212-9114
E-mail:A-TOKYO@pref.aomori.lg.jp

青森県 名古屋産業立地センター

〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル8階
TEL.052-259-7688 FAX.052-259-7805
E-mail:a-nagoya@pref.aomori.lg.jp

青森県 大阪情報センター

〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階
TEL.06-6341-2184 FAX.06-6341-7979
E-mail:a-osaka@pref.aomori.lg.jp

青森県 福岡情報センター

〒810-0001 福岡市中央区天神2-8-34 住友生命福岡ビル1階みちのく夢プラザ
TEL.092-736-1129 FAX.092-716-2037
E-mail:a-fukuoka@pref.aomori.lg.jp

「青森県産業立地ガイド」ホームページ

青森 産業立地
<http://aomori-ritti-guide.jp>



Special interview 誘致企業の声

青森からエネルギーの未来を
JX日鉱日石エルエヌジー・サービス株式会社

「キラリと光れ」弘前から世界へ
音羽電機工業株式会社

JX日鉱日石エネルギー株式会社
執行役員ガス事業部長
権田 昌二さん

青森から エネルギーの未来を

石油精製販売から始まり 総合エネルギー変換企業へ

JX日鉱日石エネルギー株式会社は石油製品から始まり、石油化学、石炭、ガスのほかに、近年は、燃料電池・太陽電池、今後は水素を活用した事業を展開しており、「総合エネルギー変換企業」を目指しています。

当社は新日本石油株式会社と株式会社ジャパンエナジーが統合して設立した、ENEOSブランドのサービスステーションを全国に展開する日本最大の石油元売会社です。母体となった新日本石油株式会社は設立が1888年と、125年を超える歴史があります。

その中で環境に優しい天然ガスに着手したのは比較的最近のことです。もともと日本の天然ガスは電力会社、ガス会社が手がけていたところに当社が参入しました。そして2006年に、岡山県の石油精製工場の中にLNG（液化天然ガス）タンクを併設して、中国電力様と一緒にLNG基地をつくり、「水島LNGプロジェクト」を開始しました。また、同時期に東京ガス様と共同で、川崎市で天然ガスを使った発電事業・パイプライン事業を展開してきました。



北東北・道東の拠点として 八戸港はインフラ整備が万全でした

八戸市では2007年にLNGの二次基地としての運転を開始しました。海外からの輸入LNGが入るのではなく、東京ガス様の袖ヶ浦工場から内航船でLNGを選び、八戸市で下ろして再度そこから配送するという事業です。2007年度以降LNGの需要増大が見込まれた北東北3

県で初めての天然ガス・LNGの供給拠点です。

今後この地域では産業用を中心に需要増大が見込まれることと、さらなる供給エリアの拡大に対応すべく、八戸ポートアイランドに2015年4月の営業運転開始に向けて「八戸LNGターミナル」を新設することにしました。完成後は北東北全域および北海道地区も含めた天然ガス・LNGの供給拠点となる予定です。



LNGの大型船が入れる港は限られます。東京湾も大型船入港上限回数いっぱい、東京電力様も困っていました。その点、八戸港は、14メートルの水深が確保できる航路の整備、利用地の整備、防波堤の計画など港湾計画がとても充実していました。また、青森県には非常に迅速に港湾整備を最優先に進めていただきました。港湾整備が整っているというのが我々の立地の大きな理由の一つだと言っても過言ではありません。

自治体のこまやかなサポートに 本当に助かりました

様々な場面で補助金・助成金を活用させていただいています。当社にとって今回はかなりの大型プロジェクトです。石油需要は年々減り続けていますので、どちらかといえば整理統合、縮小していくなかで新しい大型プロジェクトを実施することは非常に珍しかったです。進めていく中でも様々な問題や課題が出てきましたが、その度に青森県、八戸市など地元の方々に非常に親身に相談に乗っていただき、本当に助かりました。

2012年に、現地にJX日鉱日石エルエヌジー・サービス株式会社という専門の会社を作り、現地で採用した人材でこの会社を運営していく準備をしています。採用活動に関しても地元自治体に多大なるご協力をいただきました。本当に優秀な方が集まって、順調に運転開始に向けて訓練・教育をしているところです。

交通アクセスに関しても、私は東京から毎月のように八戸市に行っています。飛行機で三沢は1時間くらい、新幹線を使って八戸市は3時間くらいなので非常に便利なアクセスとなっています。青森県に行く時は毎回青森県を知らない方を連れていくようにしています。そして青森県を楽しんでもらい、ファンを増やしたいと思っています。青森ねぶた祭り、八戸三社大祭、海の幸山の幸、地酒も豊富で楽しませていただいております。実際に初めて青森県を訪れた方は皆ファンになり、「こんな良い環境で仕事してるの！ずるい！」と言われるます。



JX日鉱日石 エルエヌジー・サービス株式会社

〒039-1162
青森県八戸市豊洲7番地2

親 会 社 JX日鉱日石エネルギー株式会社
東京都千代田区大手町二丁目6番3号
会社設立 2012年11月1日
操業開始 2015年4月1日(予定)
従業員数 50名(2014年11月現在)
事業内容 「八戸LNGターミナル」および「釧路LNGターミナル」の運営

2014年11月現在

「キラリと光れ」 弘前から世界に

取締役社長
吉田 修さん

雷をよく知り、 対策を講じるトップメーカー

音羽電機工業は1946年に創業した雷対策のトップメーカーです。国内で雷だけを専門にやっているのは私どもだけです。よく避雷針会社と勘違いされることがありますが、雷から建物を守るのが避雷針。私どもは電気機器や電気設備を雷から守る「避雷器」を製造しています。



創業当初は、電気機器と言えば、真空管やトランジスタなどの単純なものでしたが、今やデジタル化となって電子部品化が進み、マイコンが入り、通信ネットワークで結ばれ、多様なニーズに応えなければなりません。また、家電なども省エネ製品に伴い、コンパクトで多機能、より精密になったことにより、雷のような異常電流に非常に弱くなりました。

さらに、通信回線で世界中が繋がっているネット社会においては、一ヶ所が雷で壊れたら世界との繋がりが遮断されます。その意味で雷による被害は広がってきました。家に雷が直撃すれば、洗濯機から電子レンジ、電子機器の故障に繋がります。しかし、それぞれの家で雷対策をされているかと聞くと、ほとんどされておられません。

だから私は社員に常々言っておりますが、「市場は無限度」と。多くの人達は、「雷は自然災害だからしかたがない」と思っていますが、雷を予知できるセンサーも開発しました。

私達は雷をよく知ることのできるような対策をしたらよいか、どんな商品を作ったらよいかということ、長年、一生懸命取り組んできました。

広がる新たな市場 さらなる研究で雷を究める

雷の発生についてはまだ全てが解明されていません。本当に不思議なのです。当社は、雷テクノロジーセンターを設置し、新しい製品づくりを行っています。

新たな市場としては、太陽光発電や風力発電が挙げられます。太陽光発電では雷の被害が発生します。風力発電は非常に雷が落ちやすく、羽の角度を変える制御盤が壊れる、羽が飛び散る等の被害が出ています。それらの対策を独自の試験装置で開発しております。

併設の雷ミュージアムには雷についての民話や童話をはじめ、技術書等の蔵書があります。また、雷の写真コンテストも実施しており、雷を身近に感じていただく活動も行っております。



津軽の人の温かさを生かし 心の通う工場へ

「キラリと光れ」というのが当社の社是です。海外の企業とも交流していますが、技術を磨いて光ってこそ、海外との取引もできます。弘前が次の飛躍のための工場となるよう、頑張っていこうと思っています。

私は弘前工場で海外向けの製品を作り、世



界に輸出しようと思っています。弘前から世界に製品を送り出すのが夢なのです。

他にも立地先の候補がありましたが、津軽地域には工業高校もたくさんありますし、若い人材もたくさんいます。そして何より人柄が気に入りました。真面目で素直で何事にも一生懸命に取り組む姿勢がものづくりに適しています。

私ども中堅企業にとって大事なものは「人との繋がり」。海外へもただ売り込むだけでなく、提案して相談に乗るとい、人間関係から結果商売に繋がると考えています。人の温かさが私どもの一番の力ですし、大事にしていることです。

これから弘前工場の存在感をより一層出していきたいと思っています。



音羽電機工業株式会社弘前工場

〒036-8073
青森県弘前市大字岩賀一丁目4番地の1

本 社 兵庫県尼崎市名神町三丁目7番3号
操業開始 1993年4月
従業員数 274人(弘前工場13人)
事業内容 高圧・低圧避雷器、耐雷トランス、その他雷対策関連製品の製造・販売等

2014年11月現在